

インマヌエル中目黒キリスト教会 2017年9月24日聖日第二礼拝

聖日第二礼拝

「赦された者として」

マタイの福音書

18章21節～35節

梅田登志枝牧師

聖書朗読

新約聖書

マタイの福音書

18章21節～35節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 33 ページ

第三版の聖書は 37 ページ

21 そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何度まで赦すべきでしょうか。七度まででしょうか。」

22 イエスは言われた。「七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。」

23 このことから、天の御国は、地上の王にたとえることができます。王はそのしもべたちと清算をしたいと思った。

24 清算が始まると、まず一万タラントの借りのあるしもべが、王のところに連れて来られた。

25 しかし、彼は返済することができなかつたので、その主人は彼に、自分も妻子も持ち物全部も売って返済するように命じた。

26 それで、このしもべは、主人の前にひれ伏して、『どうかご猶予ください。そうすれば全部お払いいたします』と言った。

27 しもべの主人は、かわいそうに思って、彼を赦し、借金を免除してやった。

28 ところが、そのしもべは、出て行くと、同じしもべ仲間で、彼から百デナリの借りのある者に出会った。彼はその人をつかまえ、首を絞めて、『借金を返せ』と言った。

29 彼の仲間は、ひれ伏して、『もう少し待ってくれ。そうしたら返すから』と言って頼んだ。

30 しかし彼は承知せず、連れて行って、借金を返すまで牢に投げ入れた。

31 彼の仲間たちは事の成り行きを見て、非常に悲しみ、行って、その一部始終を主人に話した。

32 そこで、主人は彼を呼びつけて言った。
『悪いやつだ。おまえがあんなに頼んだからこそ借金全部を赦してやったのだ。』

33 私がおまえをあわれんでやったように、おまえも仲間をあわれんでやるべきではないか。』

34 こうして、主人は怒って、借金を全部返すまで、彼を獄吏に引き渡した。

35 あなたがたもそれぞれ、心から兄弟を赦さないなら、天のわたしの父も、あなたがたに、このようになさるのです。」

説教

聖日第二礼拝

「赦された者として」

マタイの福音書

18章21節～35節

梅田登志枝牧師

今朝のテーマ：赦し

「ゆるし」という漢字には「許し」と
「赦し」の2種類がある

今朝のテーマの背景

今日の箇所は、弟子ペテロの「赦し」についての質問に対して、主イエスが答えられたたとえ話。

・ 赦しの必要（ 2 1 ~ 2 2 節 ）

一つ目は、 2 1 ~ 2 2 節から赦しの必要について教えられる。

A . 子供における赦される経験の大切さ

B . 信仰者における赦される経験の大切さ

何よりも「赦し」は聖書の中心メッセージであり、キリスト教の根幹をなす。

・ 赦しの関係（23～31節）

A．神の赦し
一方的な神様の憐れみによる「赦し」

B．人の赦し
横並びの関係における「赦し」

「赦し」の順序は神の赦しがあり、人の赦しがあるということ



・ 赦しの原動力

A . 赦しに対する神への感謝

B . 他人への神の赦しの受容



マタイ 6:14,15

もし人の罪を赦すなら、
あなたがたの天の父もあ
なたがたを赦してください
ます。

しかし、人を赦さないな
ら、あなたがたの父もあ
なたがたの罪をお赦しに
なりません。

終わりに .

私たちは神の前には赦されなければならぬ罪を持っている。

罪の赦しを経験し、神の恵みに深く感謝することで人を「赦せる」ことを可能になる。

(エペソ人への手紙 4章32節)

お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。